



米本 隆記 議員

交付税が減少するが？

町長

行財政改革を進める

【米本】本町は自主財源も少なく、合併特例債などの交付税措置が減少すると、今までの事業はできないばかりか、その返済が重くのしかかる。
平成26年度予算編成は、どのような考えでのぞむのか。
【町長】大幅な税収増が見込めないなか、平成27年度から普通交付税が減少し、ますますきびしい状況となる。
事業の見直しや「選択と集中」による行財政運営を推進する必要がある。質の改善・透明性の確保など、過去の方法にとらわれることなく、事務や事業の見直し・コスト削減・外部委託などで行財政改革を進める。



地区会議が利用予定の名和保育所

町長

撤去も考える

老朽化した施設は？

【米本】合併前に建設した施設は、老朽化が進んでいる。保育所の統合も進み、体育施設などと合わせ、空き施設の維持管理費が今後ますます重くのしかかってくる。
今から先を見すえた施設の管理計画が必要ではないか。

【町長】老朽化した施設は全国的に問題となっている。廃園した保育所は活用も必要だが、多額の修理費が必要となれば、ほかの町有施設の利用を検討し、古い施設は撤去を考える。
体育施設は、早めの点検で維持管理に努め、利用者の意見を聞き今後のあり方を検討する。

公民館機能の配置は？

町長

教育委員会と相談する

【町長】文化的な活動や仲間づくりは公民館機能と重なる部分もあり、連携をして事業を行うこともある。
お互いに連携や補完できるところは、積極的に進められることを期待し、役割や運営方法なども、合理的で効果的な方法を見出したい。
空き施設を利用しての公民館機能は、教育委員会とも相談して検討する。

【米本】高麗地区の「ふれあいの郷かあら山」は順調に取り組みが進み、隣の公民館との連携が充実している。
まちづくりが進むなか、行政も手助けできる体制が必要である。
地区会議と一体となる公民館機能を空き施設を活用して配置できないか。



行政と連携する自主組織（高麗地区）